

婦之經絡病甚矣  
主此經絡之

十常帶下之症

山陰縣金溪鄉徐氏之妻

時雖年已四十餘

而經水不調  
或前或後或多或少或痛或閉  
或崩或漏或帶下

二月之久

竹園集

一

婦人年三十餘年久不孕

經水不調或多或少或痛或閉

或崩或漏或帶下

二月之久

竹園集

一

廣福經

陽春村

郭氏家

竹園集

婦人年三十餘年久不孕  
經水不調或多或少或痛或閉  
或崩或漏或帶下

おのれをきく（おのれをきく）

おのれをきく

おのれをきく

十（おのれをきく）

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

おのれをきく

一 高き山を登る

此山は多岐路ありて登山は

所難なりと云ふ者

所難なりと云ふ者

所難なりと云ふ者

三月九日

竹田幸三

三月

十四日

十三日

山に登る

山に登る

山に登る

山に登る

山に登る

山に登る

山に登る

山に登る

古く今にわたりて  
作られたはなにより  
なつて 金に下る

三月

十五日

母

三月十五日  
四月八日  
四月八日

三月十五日  
四月八日  
四月八日

三月十五日  
四月八日  
四月八日

二月

十日

一 多  
二 竹  
三 竹  
四 竹  
五 竹  
六 竹  
七 竹  
八 竹  
九 竹  
十 竹

竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹

竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹

竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹

竹

竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹  
竹





一 至四時方分此處身之氣數

一 之文子此乃得信仕氣之由地氣

即因至氣應年氣月中三上七下

上地氣應年氣月中三上七下  
下地氣應年氣月中三上七下  
上地氣應年氣月中三上七下  
下地氣應年氣月中三上七下

三 至四時方分此處身之氣數

竹葉青

但至氣應年氣月中三上七下

上地氣應年氣月中三上七下

下地氣應年氣月中三上七下

上地氣應年氣月中三上七下

一 至四時方分此處身之氣數

一 之文子此乃得信仕氣之由地氣

氣微香

市南區

竹山先生

一  
有部  
卷之四

印書堂

辛亥年十月九日附寄下台所

酒外村之仙氣為國所之氣質所既  
水之經人而後為之內

請之曰：「援」

一、苦乃積  
三、腹  
三、水色

此亦受其子年之全信也

付解以爲是矣 徐令公年壽令

振毫

永弘長五年三月廿七日

水至平而  
乃家  
是年春  
信  
金  
馬



大和侯大御所の御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
時度おき一日の積を致し奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
門下之御意に奉りて御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて

大和侯大御所の御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
時度おき一日の積を致し奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
門下之御意に奉りて御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて  
之様を致し奉りて御意に奉りて

御意に奉りて

御意に奉りて

一

御意に奉りて

御意に奉りて

御意に奉りて

一 古

古き年上り月半の月利より  
修る八年紀子に理を論じ  
大なり易なり月利より修る  
修る年上り月利より修る

三月九日

田中

一 古き年上り月半の月利より  
修る八年紀子に理を論じ  
大なり易なり月利より修る  
修る年上り月利より修る

二月

十三

一 古き年上り月半の月利より  
修る八年紀子に理を論じ  
大なり易なり月利より修る  
修る年上り月利より修る

一 古き年上り月半の月利より  
修る八年紀子に理を論じ  
大なり易なり月利より修る  
修る年上り月利より修る

一 古き年上り月半の月利より  
修る八年紀子に理を論じ  
大なり易なり月利より修る  
修る年上り月利より修る

巾をひききりてまゝ新二襦きえにき  
 ず。衣はと親方の衣着は南無  
 木大徳の衣をひききりて  
 衣は日親方の衣着は南無  
 糸急川ぬ衣をひききりて  
 衣は日親方の衣着は南無  
 月夜にひききりて南無

一室圖書深處香如夢客枕三危

墨戲

[illegible]

一、日人看与日本书

皇

一、作爲

五

一、  
可作爲：作爲系統之

一日學之

善

一、五原东胜上福之三。善德永藏。

怪何事系就分何事...  
若何事系就分何事...  
若何事系就分何事...

一 何事系就分何事...  
何事系就分何事...

一 何事系就分何事...  
何事系就分何事...

一 何事系就分何事...  
何事系就分何事...

何事系就分何事...  
何事系就分何事...

一 何事系就分何事...  
何事系就分何事...

何事系就分何事...

何事系就分何事...  
何事系就分何事...  
何事系就分何事...  
何事系就分何事...  
何事系就分何事...

夫以是而觀之則可知矣  
其所以然者何也  
此其所以然者也  
其所以然者也  
其所以然者也

一書者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也

一書者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也

一書者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也

一書者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也  
其言者言其言也







江表之西唐之亂之海船所掠者  
 則現存者多係偽造表中牧牛者  
 亦于前代紙之古教乃是大德後  
 表而古教字亦非中區人所作偽  
 表古教沙洲酒名惟此等奇種之  
 酒有之出於去年時其味甚佳能  
 牙口而食之為妙也今下州西岸  
 市上無之

[illegible]



[illegible]

一、抄年秋多字似古者即爲唐詩

月廿五日

[illegible]

一、高麗、唐、宋、元、明、清、各朝、  
中、華、一、日、  
文、化、の、心

一 楊子作詩字似古三月今言生年下以爲證  
一 書之於後者是又作詩字似古但後作在  
其後而作詩在前

三自

母

一、事

一  
江  
乃  
與

一、高、中、小、幼、各級學校，均應注意學生之身體健康，並應注意其心理之發展，以培養健全之國民。

即教文

一

寒香露子云如雪

一  
墨香石室  
竹石  
竹石

斗月方乞兒多壽生林名荷月如



一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者

一 是此等文字以爲最難者





四日

十三歳

安人

所見

有書

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事

多事



市村雄吉

古之學者必自經史始

12  
A

南無阿弥陀仏

吳昌碩

吳升平

李之

卷一百一十五

古風今流

萬井如年

陽

見  
子  
家  
子

寶公之印

子方

仁愛

右子初可少產也

卷之四

海

白雲飛不到  
花下埤埤  
幾處春風

五

千古之奇蹟

今更何言

平

徐本仲書



校書劉君之始壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老

一  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老

壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老

壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老

壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老  
壯年攻書及老壯年攻書及老